

日南、新富2養鶏場

農場HACCP取得

中央畜産会（東京）は21日、農場の飼養衛生管理の取り組み基準「農場HACCP（ハサップ）」に県内2農場を認証したと発表した。認証を受けたのは「新富エッグシステム 18農場」（新富町）と「熊田原工務店（こっこ家くまちゃん）」（日南市）。

新富エッグシステムは採卵用の鶏、熊田原工務店は肉用の鶏の区分で認証された。いずれの区分も県内では初めて。

農場HACCFは、家畜衛生の向上によって安全な畜産

物生産につなげるのが目的。認証には、衛生管理システムの確立に加え、業務工程の文

書化や危機管理態勢の構築などが求められる。

新富エッグシステムは採卵業アミューズ（日向市）の関連会社。同社の鹿児島県にある関連会社2農場も認証を受けた。

（佐藤友彦）

2018年9月22日 宮崎日日新聞